

「エネルギー講演会」開催 ～ 第4次産業革命とエネルギー政策 ～



越善村長挨拶

1月23日、東通村体育館において、「エネルギー講演会」(主催・東通村、後援・東通村商工会、協賛・東北電力㈱)が開催され、約260人が参加しました。

当日は、経済産業省総合資源エネルギー調査会の原子力小委員会委員などを務めている慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授の遠藤典子氏を講師にお招きし、「第4次産業革命とエネルギー政策」と題して、講演して頂きました。



遠藤典子氏の講演

開会にあたり、越善村長からは、当村に立地する東通原子力発電所の現状にふれながら、「東通村は、昭和40年の誘致決議以来、一貫して国策である原子力政策に協力してきたところであり、今後より一層の安全性の確保を大前提として、原子力発電所との共生による村づくりを進めていく」との挨拶がありました。

遠藤氏からは、「AI(人工知能)やモノとインターネットをつなぐIoTなどの技術革新による第4次産業革命によって、ネットワークに接続された家電製品、電気自動車などの普及が進み、電力消費が伸びることが想定され、電力需要拡大に対応する電源として、エネルギー安全保障などの観点から、発電効率のいい安定的な電源である原子力発電が益々重要度を増していく」とのお話がありました。

参加者からは、「原子力発電の必要性を再認識できた、エネルギー政策の現状と問題点について理解できた」等の意見が聞かれました。

「東通天然ヒラメ刺身重」が奨励賞受賞！ ～ 東通ヒラメ料理推進協議会 ～



三村県知事から表彰状を受け取る南川会長

2018年度「意欲溢れる攻めの農林水産業賞」の受賞者が発表され、東通ヒラメ料理推進協議会(会長・南川直樹)が奨励賞を受賞しました。

これは、青森県が生産・流通・販売面において「攻め」の姿勢で県産農林水産物を活用した新たな試みや創意工夫を凝らすとともに、地域の活性化などに貢献している団体等を表彰するものです。

受賞理由は、村の主力魚種である天然ヒラメに着目して、その付加価値を高める「東通天然ヒラメ刺身重」の開発によりブランド化や販売促進を図るとともに多様な手法による情報発信を進め、知名度の向上や交流人口の拡大に結び付けることで、地域の活性化に貢献したことが評価されたものです。



越善村長へ受賞報告する南川会長

1月23日に青森市で行われた表彰式では、青森県知事から南川会長に表彰状が授与され、「県魚でもあるヒラメをPRしていただきありがとうございます」と感謝の言葉を頂きました。その喜びを越善村長に報告したところ、越善村長からもお祝いとのことへの活躍を期待する激励の言葉を頂戴しました。

現在、「東通天然ヒラメ刺身重」は累計食数が9,000食を突破しており、今後も東通村の食の素晴らしさを発信していきたいと南川会長も抱負を述べていました。「ヒラメといたら東通村、東通村といたらヒラメ」と言えるような東通天然ヒラメのブランド化を目指していきたいものです。